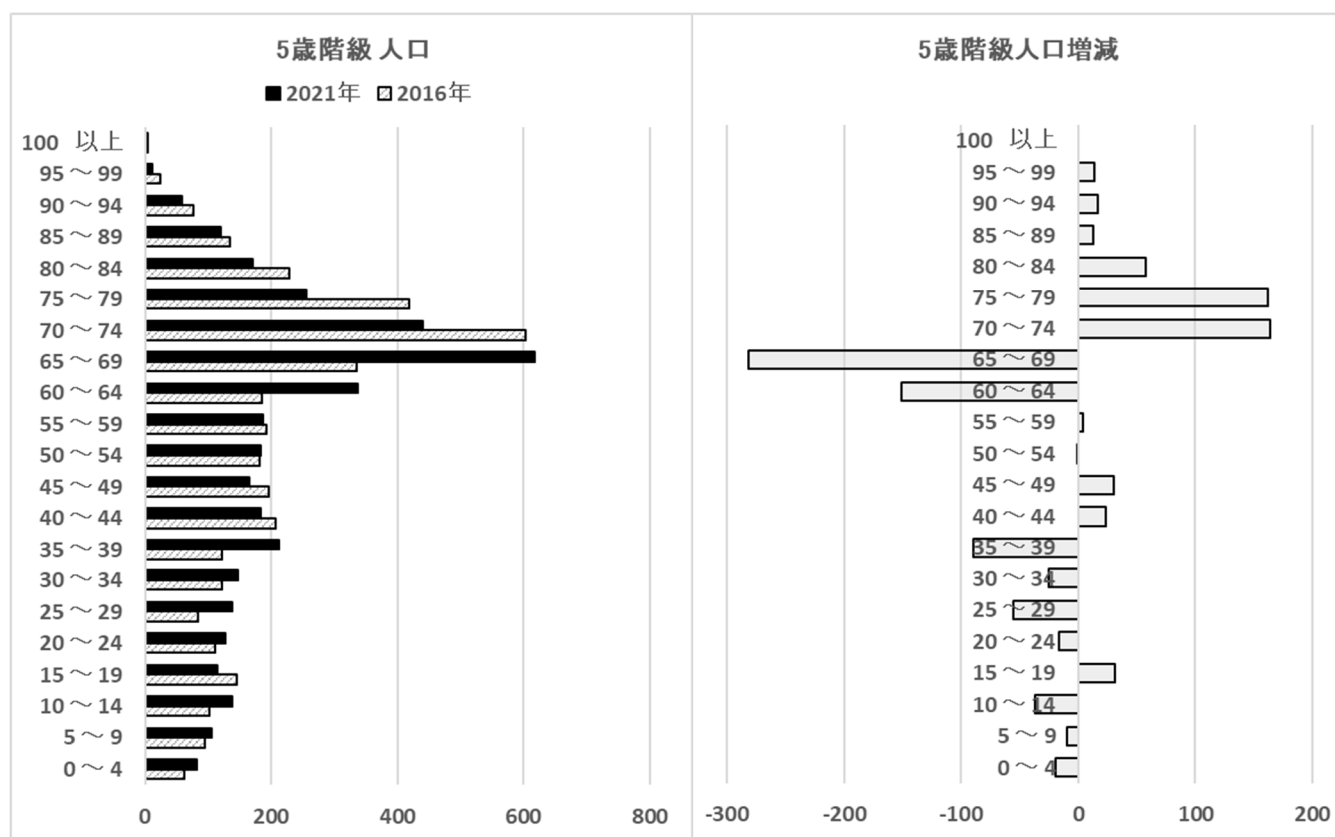


## 日吉台人口の移り変わり資料

日吉台学区自治連合会事務局

以下は大津市がホームページで公開している2016年3月31日及び2021年の4月1日現在のデータを基に、この5年間の日吉台学区の人口をグラフ化したものです。

## 1. 5歳階級別人口とその増減



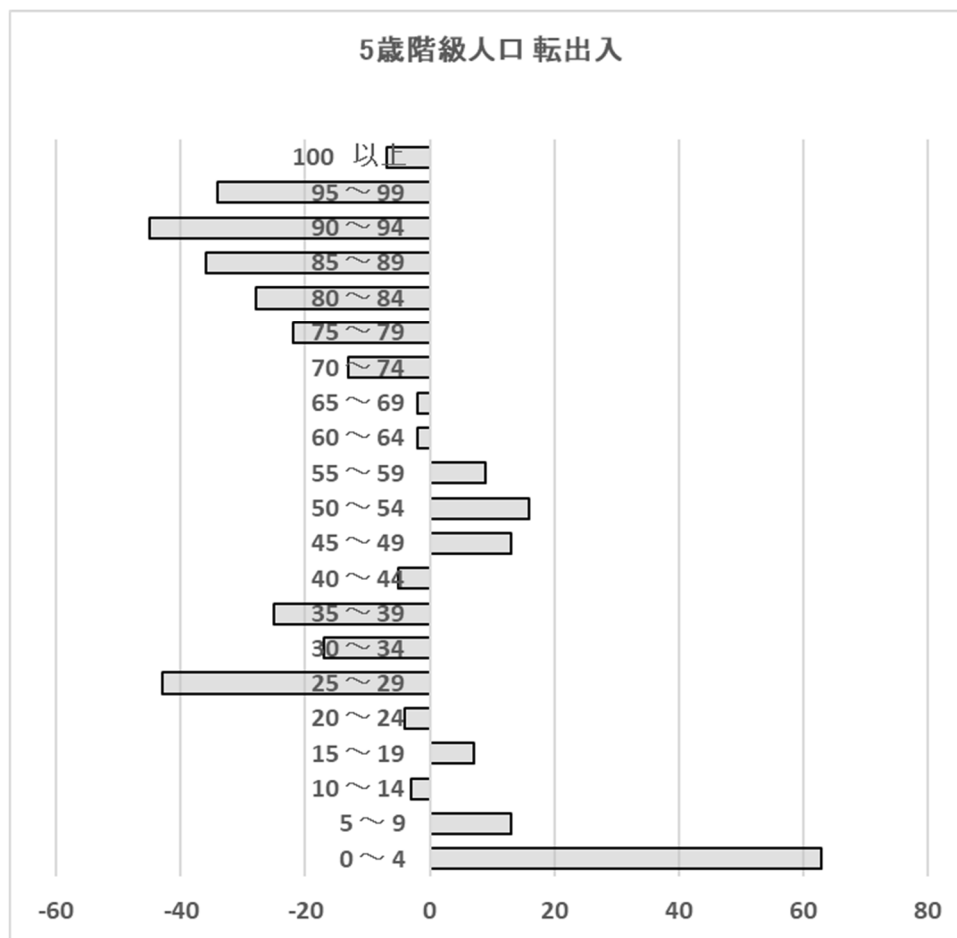
左のグラフは2016年と2021年の5歳階級毎の人口、右のグラフはその増減を表したものです。

この5年間で日吉台で最も人口の多い5歳階級が65～69歳から70～74歳になり、65歳以上の人口が全人口に占める割合である高齢者率は44.1%から50.2%になりました。

また全人口は2016年の3801人から2021年は3632人に169人(-4.4%)減少しました。

増減(右グラフ)を見ると、日吉台のコミュニティ活動の中心となられている方が多い世代が60歳代から70歳代に高齢化する一方で、運動会や夏祭りといったイベントの主体である0歳～14歳の幼児、小中学生の人口が2016年の326人から2021年は260人へと66人(-20.2%)減少していることがわかります。

## 2. 5歳階級人口の転出入



上のグラフは2016年からの5年間で、ある5歳階級人口が一つ上の5歳階級に遷る際にどのような変化があったかを知るために、2021年の5歳階級人口から2016年の1つ下の5歳階級の人口を引いたものです。従って、左側の減少は転出や死亡を意味し、右側の増加は転入や誕生を意味します。（但し、転入と転出が同じ5歳階級で起こっている場合はこのグラフに表れません。）

70歳代より上の減少人口が合計185名あり、これは主に高齢者施設への転居や死亡に起因すると推定できます。今後70歳代以上の人口割合が増加すると減少幅も拡大すると思われます。また20歳～39歳の減少は、学校や就職、結婚などによる転出が多いと思われます。

0～4歳は、この5年間に新たに日吉台で生まれた、或いは日吉台に転居されてきた子どもということになり、合計63名です。新たに63名の子どもを迎えられたことは幸いですが、仮にこの子どもたちが全て日吉台小学校に入学しても1学年は平均で12名程度となり、現在の18名（全校児童数109名）よりさらに減少することになります。

※ 本資料は、自治連合会や自治会の今後の事業の在り方を検討するための資料の一つとして今回作成しております。